

# 高大連携授業

日 時：令和8年7月7日（火）5～6限目

対 象：スポーツ健康科学科1～3年生（115名）

講 師：伊坂 忠夫 氏（立命館大学スポーツ健康科学総合研究所 所長・スポーツ健康科学部教授）

内 容：「これからのスポーツ健康科学～スポーツ健康科学の可能性～」

- 1 これからの時代とウェルビーイング
- 2 これからのスポーツ健康科学
- 3 身体圏研究とウェルビーイング
- 4 これからのスポーツ
- 5 スポーツ健康科学人材の未来

**未来のウェルビーイングを実現するのは「スポーツ健康科学をコアに極め学際共創できる人材！」**

※ ウェルビーイング（Well-being）とは、身体的・精神的・社会的に良好で、心身ともに満たされた状態

※ 学際共創（がくさいきょうそう）とは、複数の異なる学問分野が境界を越えて連携し（学際）、さらに大学・研究機関と産業界、行政、市民などの社会（アカデミア外）が協力して、新たな価値や知、社会課題の解決策を共に作り出すこと

最後に伊坂先生からは「日本も世界も課題がたくさんあります。みなさんの大切な人生がウェルビーイングに満ちたものにして欲しい。そのためには学び、考え、仲間と議論しアイデアを深めて行動するしかない。今できることを目一杯チャレンジして多くの仲間、経験を得て欲しい。そして自らのキャリアを磨きながらみなさんができる貢献を進めてください」とまとめられ、生徒たちにとって大変刺激を受けた講演会でした。



